

令和5年度 デジタルドリル活用実証研究事業 土佐町立土佐町中学校

1. デジタルドリルを活用した取組の概要

① 「すららタイム」の設定

すららドリルを活用する時間を確保するために、週に1時間「すららタイム」と名付けた時間を設定した。すららドリルを用いて、その週に学んだことや今までに学んだことの中で、再度確認しておきたいことを各個人が自分自身で振り返り、考え、学ぶ機会を確保できた。

② 中2の自学ノートをすららドリルと代替

毎日の取組を強制することなく、各個人が自分でスケジューリングし、取り組めるようにした。ただし、ゴールは設定し、一度やれば終わりではなく、週明けのテストで合格できるように反復して取り組むように促した。

デジタルドリルを活用した効果的な事例①

○デジタルドリルの活用場面（授業中・帯タイム・放課後・家庭学習等）や活用のポイント等をまとめてください。

特別支援学級での活用

知的学級に所属している生徒の算数・数学の学習のために用いた。ゲーム要素が入っているので、導入に利用することで、意欲的に取り組むことができた。また、小学校低学年から振り返って学習することにも抵抗感がなく取り組んでいた。単純な計算だけではなく、文章題にも取り組めるので、計算をする意味の理解も深まっている。



令和5年度 デジタルドリル活用実証研究事業 土佐町立土佐町中学校

デジタルドリルを活用した効果的な事例②

○デジタルドリルの活用場面（授業中・帯タイム・放課後・家庭学習等）や活用のポイント等をまとめてください。

中2の自学ノートをすらドリルと代替

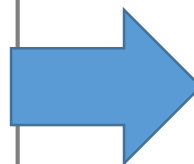
自分自身で学習するタイミングを選択し、主体的に学習することができた。課題を与え、つけるべき力を明確にしていたが、その課題以上の範囲に取り組む生徒も見られた。ただし、実施した課題が実施履歴として残ってなかったり、正しい答えを間違えと判断されたりする生徒がおり、ストレスを感じるがあった。



2. 成果・効果

○学力調査等の結果から見られる成果・効果についても分析してください。

- ① 特別支援学級の生徒が、今までできなかった3桁と2桁の掛け算ができるようになった
- ② 2学期期末テストの中2数学の点数が10p上がっている
- ③ 2学期期末テストの中2理科の点数が9p下がっている
→自学ノートをせずにすらドリル用いたことで、毎日の学習時間が減ったからかもしれない。



3. 今後の取組の方向性

- ① すらタイムの時間短縮
→短い時間で集中して取り組ませる
- ② 数学以外の教科
→多様な教科の学習を支援する
- ③ 反復して練習
→確かな学力を身に付けさせる